

本講義ノートは、講義スケジュール「広汎性発達障害・評価と治療」の総論箇所の講義ノートである

広汎性発達障害をもつ子どもの作業療法を地域生活での支援にスポットをあてながらライフステージにそった作業療法を概説する。

また、概説の後には、担当教員が実際に行っている作業療法の実践場面のスライドを示し、幼児期、学童期、青年期の作業療法を具体的に説明する

注:実践場面は、個人情報保護によりスライド提供は出来ません)



発達障害をもつ子ども(広汎性発達障害 など)のライフステージを支える 作業療法



第1部

1. はじめに



地域でのさまざまな生活のいとなみ・・・つながりたい!
つなげる役割、それが作業療法



2. 子どもたちの意味に重なる作業療法

- ☆情動的コミュニケーションをベースにして子どもの意味に心を重ねる
- ☆生活のいとなみにこそ・・・行為の意味が見えてくる

第2部



3. ライフステージと作業療法の実践



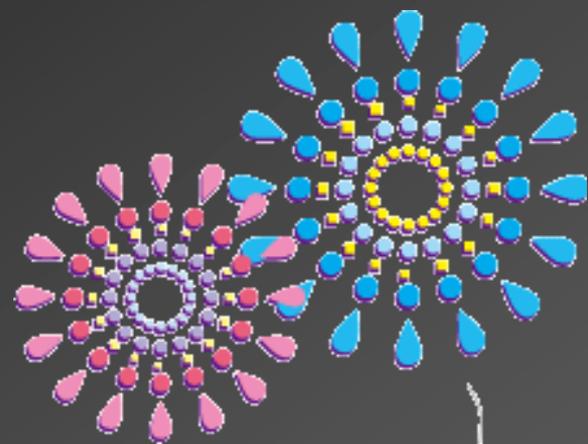
幼児期・・・発達支援センター



学童期・・・特別支援教育－通常の学級－

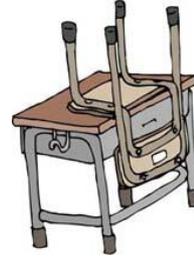


成人期・・・地域福祉施設



はじめに

生活のいとなみのなかで、子どもたちは・・・



身辺自立

コミュニケーション
対人関係
場所

学習・姿勢
学習道具

運動・遊び
遊び道具

人的環境・物理的環境



??

運動機能・感覚-知覚-認知機能 社会・心理機能

中枢神経機能

生活のいとなみのなかで、作業療法士は・・・

作業療法士



環境



環境が求める意味と
子どもの意味をすり
合わせる



子どもから放たれる行為



運動がぎこちない
姿勢・運動調整が苦手
情動の抑制が苦手
感覚系の偏り

運動機能・感覚-知覚-認知機能
社会、心理機能

中枢神経系の機能

相互作用の視点から子どもの発達を支援する

子ども側の準備



環境からの手がかかり

養育者や保育士との関係

中枢神経系機能の発達

- ・ 運動
- ・ 感覚-知覚-認知
- ・ 社会機能
- ・ 心理機能



- ・ ことばかけ
- ・ お手伝いの方法
- ・ 見本の示し方

こどもが学習しやすい環境

- ・ 一対一
- ・ 小集団
- ・ 子どもの好きなスペース

こどもが関わる日常生活の道具

- ・ 洋服の形、素材
- ・ トイレの機器
- ・ 食具

交互コミュニケーション能力の育ち



- ・ 生活のいとなみを通じて促す
- ・ 個別の作業療法(医療)

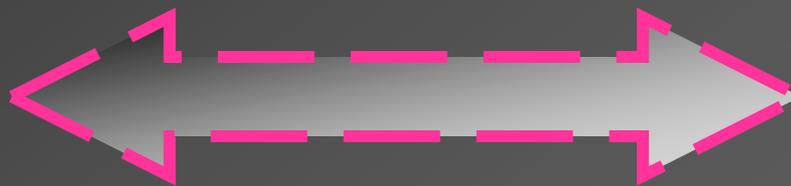
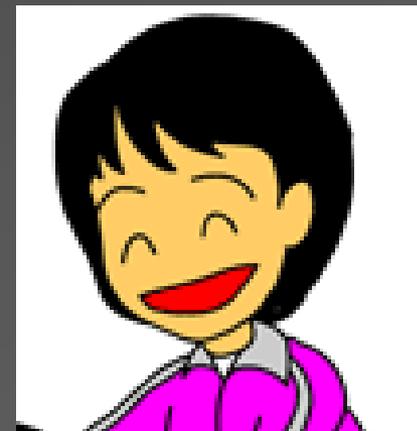


生活、保育場面で子どもの工夫

従来の作業療法の目に見えない成果・・・

2者関係性のなかでアセスメントをおこない、
作業療法を実施してきました!

子どもの行為を通じて生活のいとなみの
なかで、子どもの意味を把握できる



子どもの意味に重なる
情動的コミュニケーション

作業療法とは・・・

目的:対象児・者にとって意味のある作業活動を遂行するにあたって

方法:いくつかの根拠に基づいた手段方法で

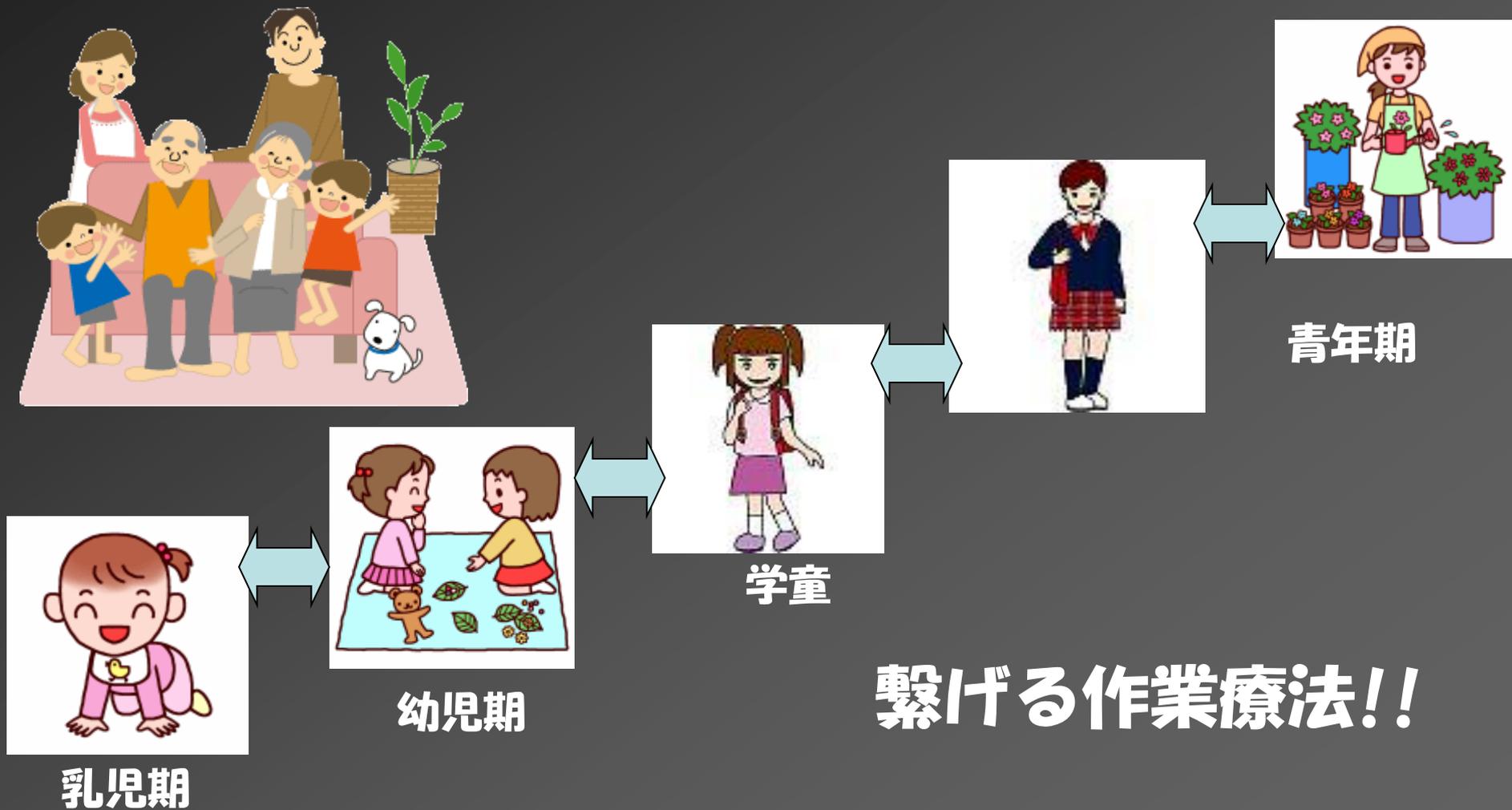
介入(作業療法):介入することで、対象者の目的が達成される

効果(成果):①対象者にとって意味のある作業活動が遂行できる
②そのプロセスで、嬉しさ、満足感、自己達成感、
有能感を育て・・・子どもたちの自尊感情を育てる

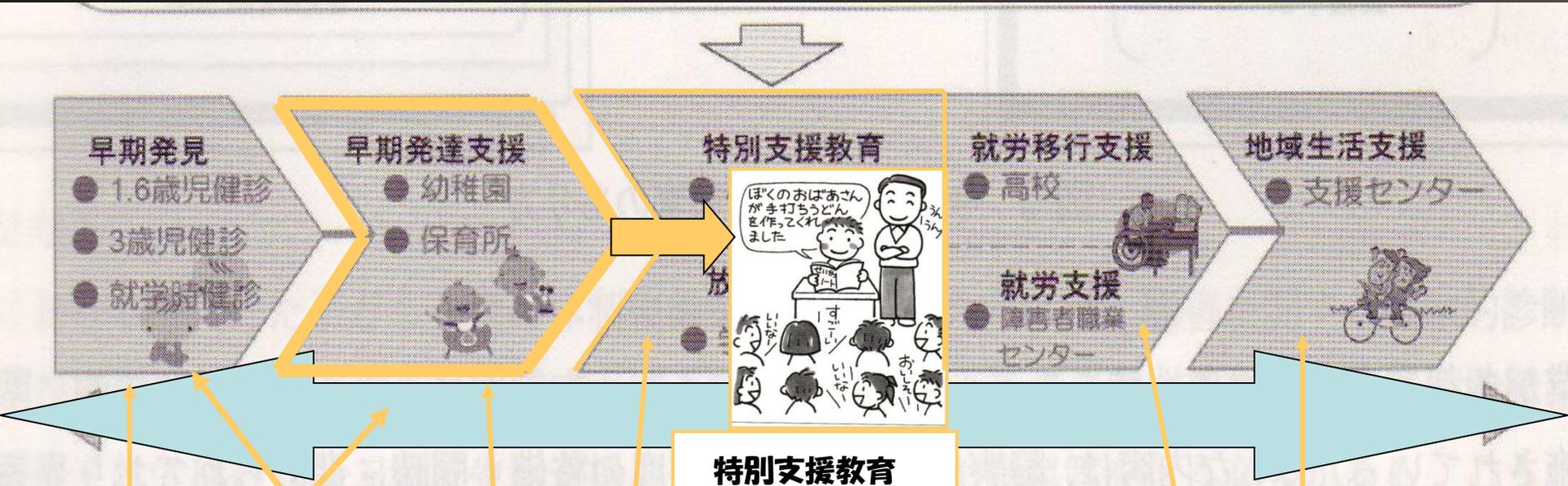


ライフステージを通じて・・・

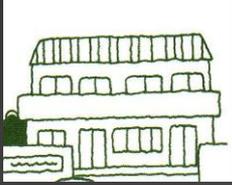
作業療法士は、あらゆる生活のいとなみから子どもたちの行為の意味を理解し、さらに、環境からの期待に子どもたちや家族がチャレンジすることの意味を共有している



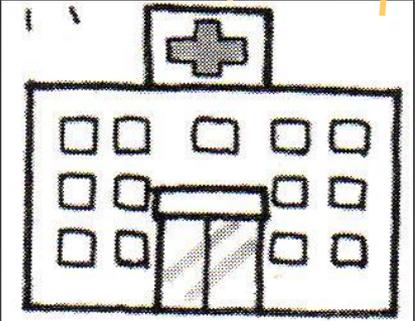
ライフステージにそった作業療法



特別支援教育
専門家チーム
特別支援学校
特別支援学級



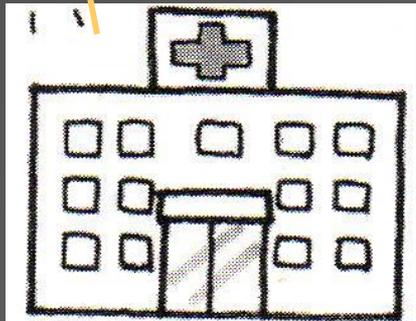
発達支援センター
テイサービス



病院
小児発達センター(旧肢体不自由児施設)
母子通園施設(肢体・知的)



非常勤で働く作業療法士
大学、養成校勤務の作業療法士



身体障害者療護施設
重度心身障害児者センター
知的障害者更生施設

子どもたち、成人の方の意味に重なる 作業療法



ひとりで上手く着れるかなあ・・・？

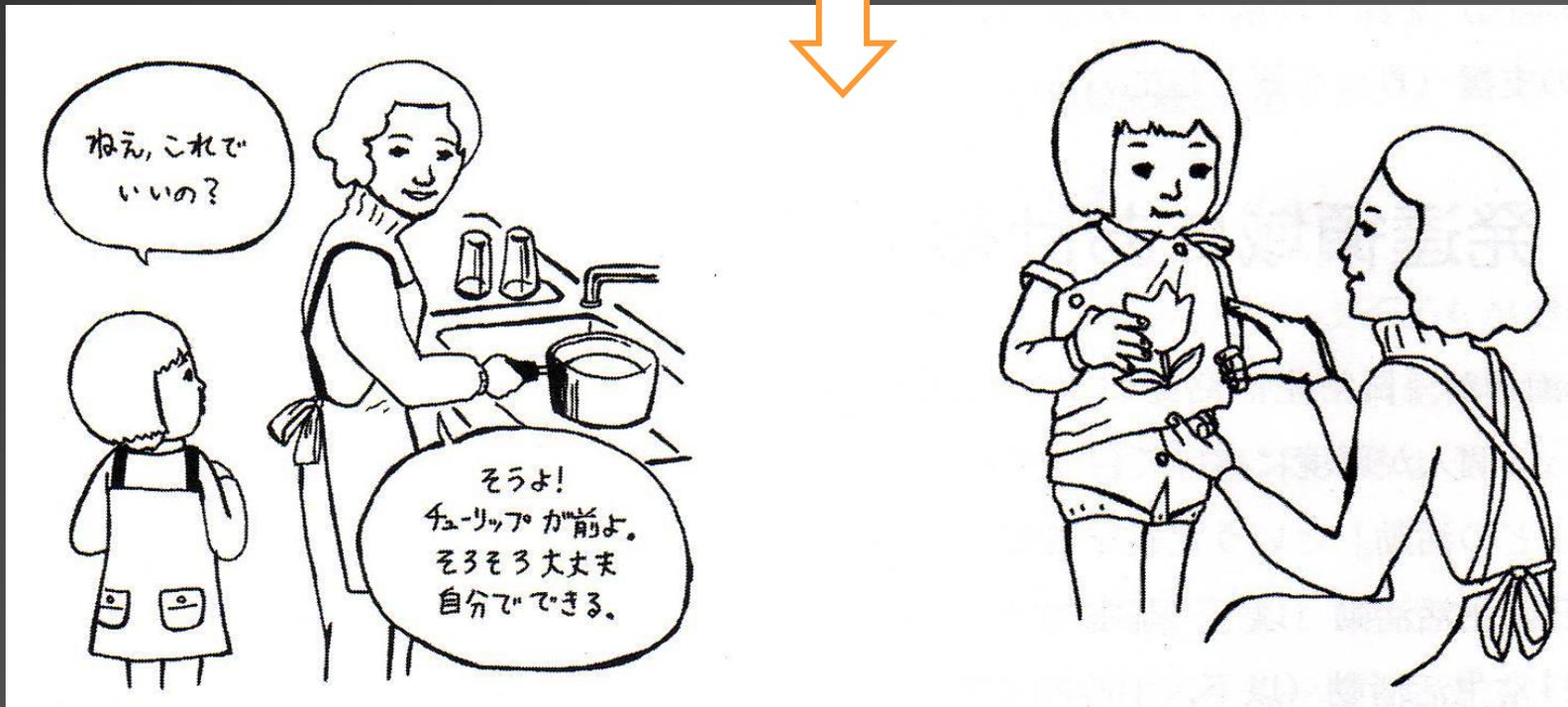


生活のなかで・・・ 子どもの育ちの場面



養育者からの
声かけ

アツブリケが
手かがい



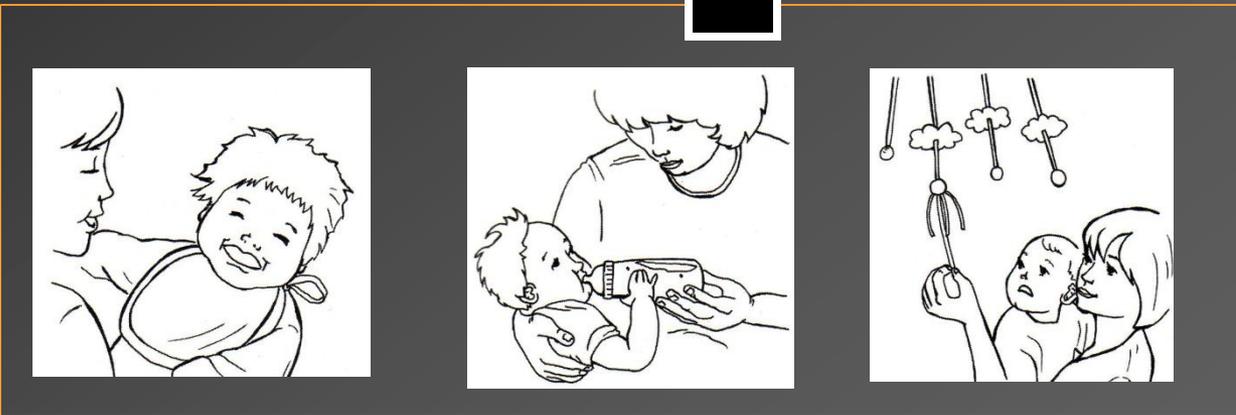
生活のいとなみのなかで子どもの行為から 意味を理解する



ほら、チューリップが前でしょう...
そう、そう、上手ね

象徴的
コミュニケーション

象徴的コミュニケーション(ある特定の身体の動きや表情が
象徴的意味をもつようになる)が発達するためのお互いの
協約的關係が発達する



情動的
コミュニケーション

動ちょっと! フレイク 情動的コミュニケーション

対面する2者関係において、その心理的距離が近い時に、一方または、双方が気持ちの繋がいや共有を目指しつつ、関係を取り結ぼうとするさまざまないとなみ



子どもの身体、顔面の表情から放たれる笑みに引き寄せられ、思わず近づいた。



子どもの表情に応えるように(子どもの表情を抱きしめるように)感じ合う、養育者の働きかけに体を鎮めて応える子ども。



「あれ・・・どうしたの?もっと、もっと」と身体の表情で表し求める子ども(お互いが求め合う=繋合希求)

生活のいとなみから 行為の意味が見え、重なることができる

子どもの表示方法

- ・ 上手く相手のことばを理解できない
- ・ 上手くしゃべることができない
- ・ 状況の把握に時間がかかる



先行事象を**落ちついて**・
把握しましょう



子どもの意味に重なる
「○○したかったんだ」



- ・ **運動表現** ・ ・ **じっとしてられない**
- ・ **表情表現** ・ ・ **不快・悲しい表情**
- ・ **行動表現** ・ ・ **その場から逃げ出す**



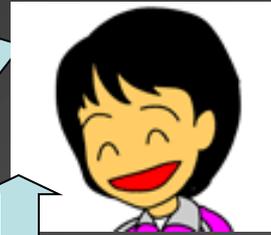
作業療法士は・・・生活のいとなみに入り込み

子ども側の準備



環境からの手がかり

作業療法士



養育者や保育士との関係

- ・ことばかけ
- ・お手伝いの方法
- ・見本の示し方

こどもが学習しやすい環境

- ・一対一
- ・小集団
- ・子どもの好きなスペース

こどもが関わる道具

- ・洋服の形、素材
- ・トイレの機器
- ・食具



生活、保育場面で工夫



中枢神経系の発達

- ・運動
- ・感覚-知覚-認知
- ・社会機能
- ・心理機能

交互コミュニケーション
能力の育ち



保育や家庭生活のいとなみ
のなかで促す

学習面

- ・読む、書く、算数が苦手
- ・学習意欲がない
- ・整理整頓が下手
- ・鏡文字がなおらない
- ・黒板の文字を上手く写せない
- ・集中力に欠ける など



行動面、コミュニケーション

- ・パニック
- ・集団がいや
- ・友だちと関われない
- ・すぐにカッとなる
- ・ルールが理解できない
- ・あそび、興味に偏りがある
- ・五感が過敏 など

**先行事象を落ちついて解釈することで対応が分かる
支援者の対応で変化がみられる**

**先行事象の解釈だけでは分からない・・・
他の場面や専門家との話し合い
連携、継続的な**

専門家との検討、個別支援計画や個別教育計画の検討



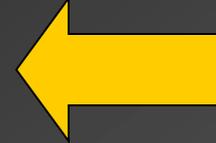
ライフステージにそった作業療法の実践

乳幼児期

子ども側の準備



作業療法



家庭環境からの
のhandがかり

養育者との関係

- ・ 日々の生活のいとなみ
育児の方法

子どもが遊びやすい環境

- ・ 母と子ども
- ・ 父と子ども
- ・ 家族と子ども

安心して遊べる場所

役割と賞賛

↓
自我の発達

家庭生活のいとなみの
なかで子どもの工夫

中枢神経系の発達

- ・ 運動
- ・ 感覚-知覚-認知
- ・ 社会機能
- ・ 心理機能

交互コミュニケーション
能力の育ち



育児やあそびのなかで
促す



幼児期

作業療法

環境からの手がかかり
養育者や保育士との関係

- ・ことばかけ
- ・お手伝いの方法
- ・見本の示し方

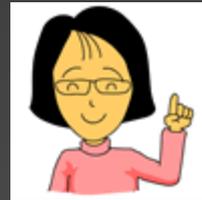
こどもが学習しやすい環境

- ・一対一
- ・小集団
- ・子どもの好きなスペース

こどもが関わる道具

- ・洋服の形、素材
- ・トイレの機器
- ・食具

生活、保育場面で子どもの工夫



保育士



子ども側の準備

中枢神経系むの発達

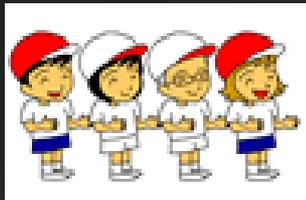
- ・運動
- ・感覚-知覚-認知
- ・社会機能
- ・心理機能

交互コミュニケーション
能力の育ち

保育やあそびのなかで
感覚統合機能を
促す

特別なニーズをもつ子どもたちの学校生活を支える 作業療法





(仮名)協働ミーティング

学校生活の観察(アセスメント)



先生:教育計画に
活かしていきます



コーディネーターと学校訪問へ



OT:ご心配なことがありましたら

コーディネーターの方へ
ご連絡下さい

事前情報の整理(評価)



相互作用の視点から青年のくらしを支える

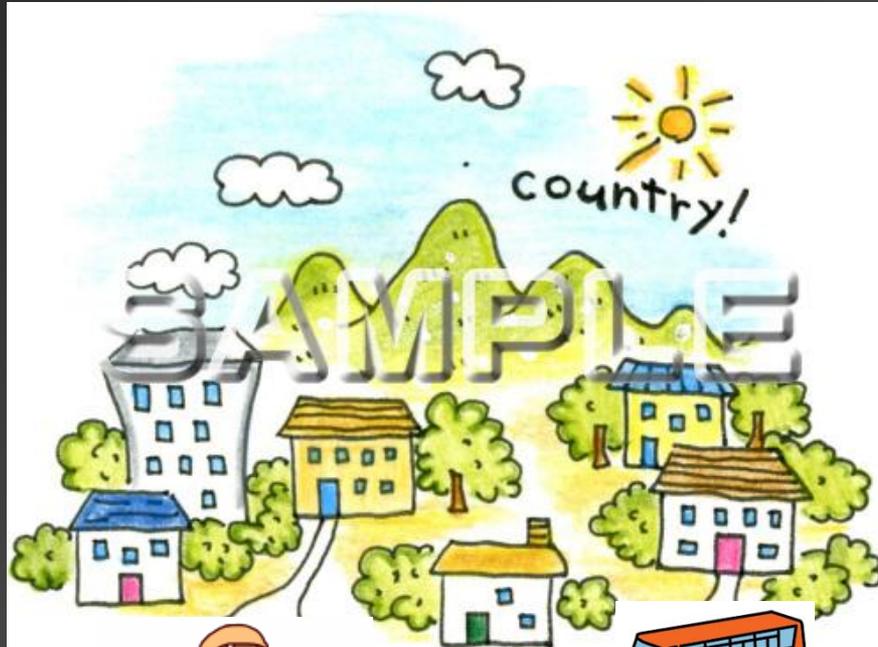


青年側の準備

中枢神経系の発達

- ・運動
- ・感覚-知覚-認知
- ・社会機能
- ・心理機能

交互コミュニケーション
能力の育ち



地域生活からの手がかかり

仲間との関係

- ・ことばかけ
- ・お手伝いの方法
- ・見本の示し方

働く場づくり

自立生活の場

具体的場面でのコミュニケーションスキルの指導

就労・自立生活のための道具

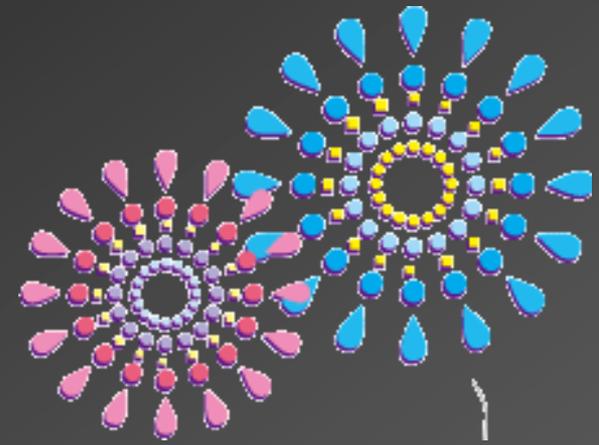


地域に開かれた施設での豊かな生活



社会スキルを身につけるための個別支援





地域での協働の意味

地域での協働の意味

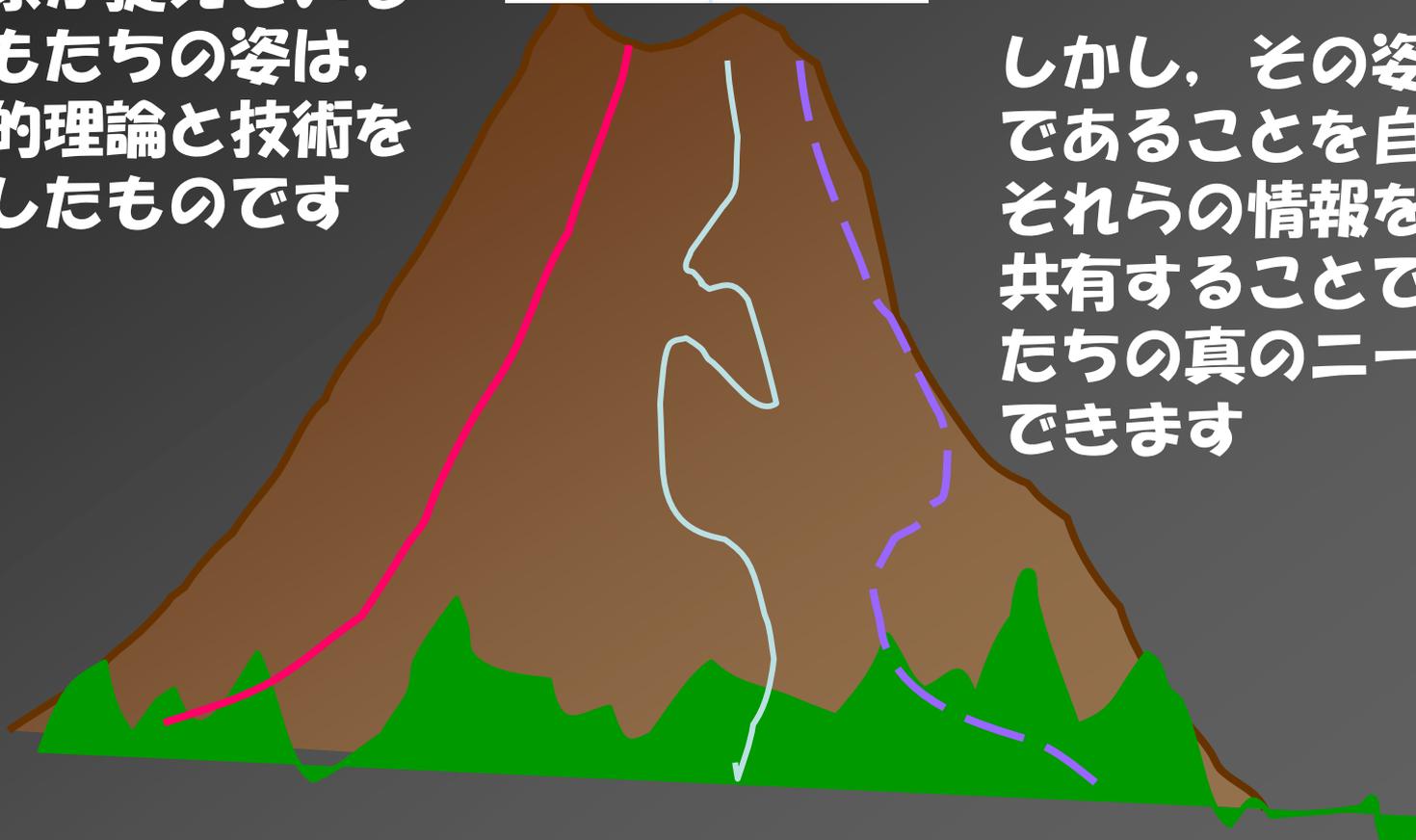
山に登る手段、方法は違っても・・・



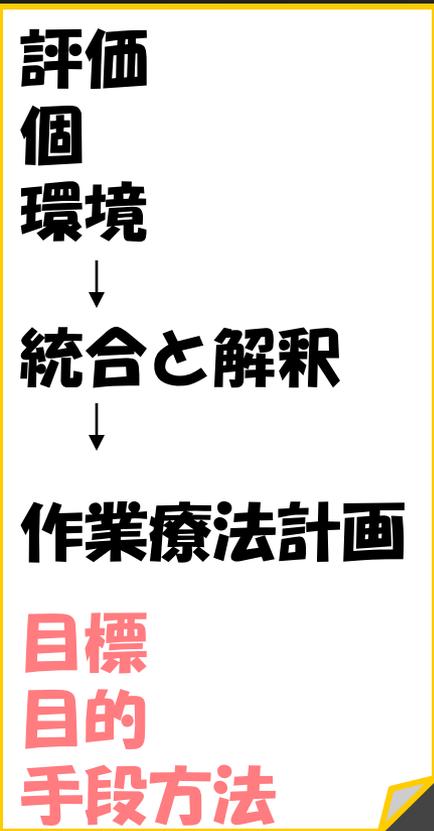
目標(山頂を目指す)は同じ

頂上に辿りついた
専門家が捉えている
子どもたちの姿は、
専門的理論と技術を
駆使したものです

しかし、その姿は一面
であることを自覚して
それらの情報を交換
共有することで、子ども
たちの真のニーズが確認
できます

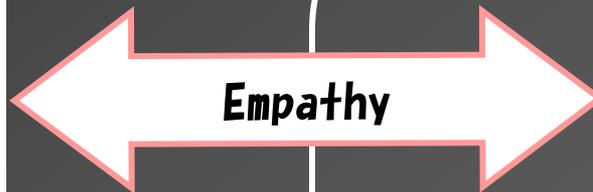


作業療法士による支援



できた!

できた!!



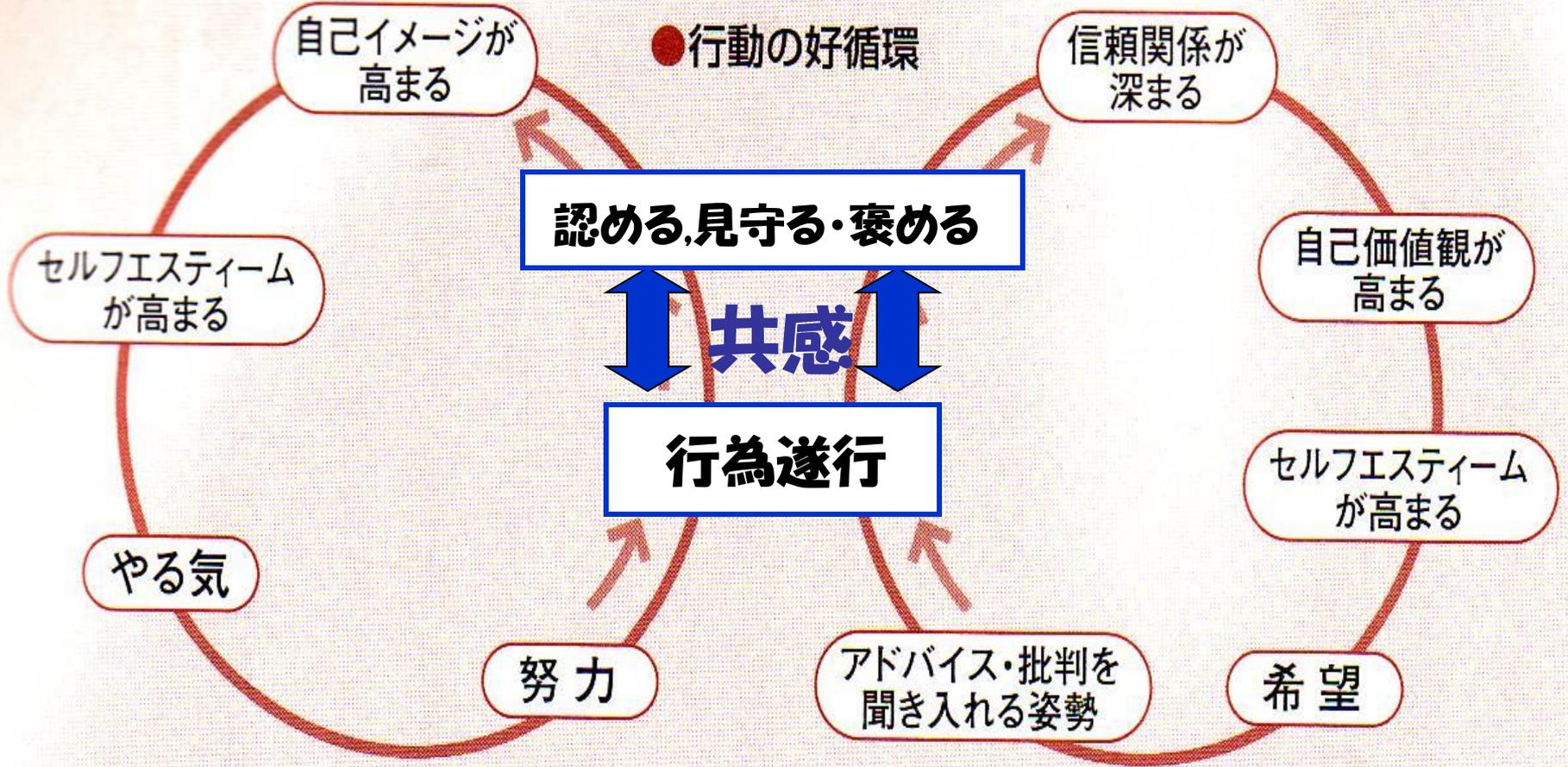
できた!!



できたね!!



セルフエスティーム



注:「共感」とは, **Empathy** と **Sympathy**を意味する

作業療法士のこれからの努力

発達障害をもつ子どもたち、ご家族の心に重なる支援を目指して

対象者のことばや行為という象徴の基盤に何があるかということに人として関心を寄せて・・・

次ぎに冷静に自分の専門職としての技能の箱を開けることから始まります。



そして、その関わりの成果は、客観的なものだけでなく・・・
お互いが、鏡となり快情動が映し出されるまでをゴールに
したいと考えます